

## 平成19年度麻布大学同窓会中部ブロック会議の開催

(新潟県支部)

中部ブロックは長野県、静岡県、愛知県、岐阜県、福井県、石川県、富山県及び新潟県の8県で構成され、今年度は新潟県が幹事県となり、平成19年10月27日(土)、新潟市万代「ホテル新潟」で、各県19名が出席し開催しました。

始めに、担当県の岡澤新潟県支部長より平成16年度の水害、中越大地震そして今年度の中越沖地震の被害に係る各県からの支援に謝意を述べ、中部ブロック会議会長である愛知県犬塚支部長より、麻布大学卒業の獣医師間の協力と相互支援をお願いし、麻布大学同窓会の発展に寄与していきたいと挨拶がありました。

来賓としてご臨席いただいた政岡学長

からは、国家試験問題の漏洩についてお詫びしたい。卒業生は大学の宝であり、11月の大学祭にOBが訪れるようになってきた。「大学がOBに対して何ができるのか」、「私立大学の存在意義は何なのか」を問われていると考えている。卒業生の師弟枠への意見等は十分認識しているが、学内のコンセンサスができていない現状である。今後、入試制度の改善に向けて努力していきたい旨の話があり、同じくご来賓の紫野同窓会長から、同窓会支部と連携して活動していきたい。同窓生への文献検索や、学生の就職活動を大学の就職課と一緒に支援していきたい。同窓会名簿作成は今年度が最後となる、今後利益の出る事業や同窓会員の福祉厚生にも力を注ぎたい。創立125周年記念に向けて検討していきたいと挨拶されました。

その後、各県支部の活動状況の報告があり、今後の中部ブロック会議の運営等について新潟県岡澤支部長が平成11年の本会議発足時に作成した「申し合わせ事項」について説明し了承を得ました。また、三重県支部(近畿ブロック)からのブロック変更希望について、中部ブロックとしては特に問題はないことを確認し、紫野会長からも、規約改正でブロックの構成変更はできると思われる、三重県からの文書要請を受けてから検討したいとの回答があり、政岡学長からも正式な依頼があれば理事会の改正検討委員会で法人の役員取扱、選出区分等について検討することになっているとのコメントがありました。

次いで行われた懇親会は新たに新潟県支部会員が加わり、各県支部の情報交換を行うとともに、学生時代の思い出話など相互の親睦を深めることができ、寮歌、数え歌の熱唱で時の経つのを忘れ、二次会を経て次期長野県での再会を祈念し、ようやく宴を閉じました。



文責 新潟県支部事務局 小野島学 (S50卒)